

資料	
----	--

# 奥州市 景気動向調査報告書

実績：平成29年 1月～3月期

見通し：平成29年 4月～6月期

奥州商工会議所  
前沢商工会  
平成29年4月

# 奥州市景気動向調査報告書

## — 平成 29 年 4 月調査結果 —

〔 実績：平成 29 年 1 月～ 3 月期  
見通し：平成 29 年 4 月～ 6 月期 〕

■調査期間：平成 29 年 4 月 3 日～4 月 13 日

■調査目的：奥州市全体の企業景気動向を四半期ごとに把握し、地域産業の振興並びに経営指導の参考に資することを目的として実施する。

■調査機関：奥州商工会議所・前沢商工会

■調査方法：奥州市全体の把握のため、奥州商工会議所本所、江刺・胆沢・衣川各支所及び前沢商工会会員事業所の中から、業態・規模を勘案して抽出した 400 事業所に対するファクシミリによるアンケート調査(無記名方式)。

(水沢 243 事業所 江刺 93 事業所 胆沢 22 事業所 衣川 10 事業所 前沢 32 事業所)

■回収状況：調査対象先 400 事業所のうち、307 企業からの回答を得た。(回収率 77%)

業 種	調査依頼企業数	回答企業数
小売商業	40	32
卸商業	40	33
機械工業	40	33
食品繊維工業	40	26
総合建設業	39	31
専門建設業	40	35
運輸交通業	41	34
金融保険不動産業	40	25
宿泊飲食業	40	24
理美容サービス業	40	34

■判断方法：業況・売上高・営業利益・資金繰り・在庫高については、日本商工会議所 [LOBO調査]の算出方法を基準に、DI 値を用いて判断する。  
その他の調査項目については、実数値による判断を行う。

「DI」(diffusion index=ディフュージョン・インデックス)

景気動向指数を集め景気全体の動きを表す工夫をした指数であり、特に言及のない限り、前年同期に比べ「増加・好転」したとする企業の割合から「減少・悪化」したとする企業の割合を差し引いた数値である。

$DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

## 要 約

### — 管内の景況は回復に「腰折れ感」

先行きの見通しは慎重ながらも回復への期待感 —

今期の管内商工業の景況（全産業実績DI）は、前回調査から依然として低調に推移しているものの、在庫高DI・借入状況DIで数値が改善。しかしながら、業況DI・売上高DI・営業利益DI・資金繰りDIで数値の悪化傾向がみられ、その要因として暖冬・人手不足等の意見も挙げられた。

業種別の業況DIをみると、「金融保険不動産業」「宿泊飲食業」「小売商業」「運輸交通業」で改善傾向を示したが、「総合建設業」「食品繊維工業」「機械工業」「専門建設業」「卸商業」「理美容サービス業」で悪化となった。その一方、積極的な販売促進や新商品開発など企業努力を強化する前向きな意見も挙げられた。

予想DI値（全産業）については、業況DI・売上高DI・営業利益DI・資金繰りDI・借入環境DIで数値が改善、在庫高DIで数値が悪化の見通しとなった。今後の景気に対して前期同様に世界経済の動向を注視する意見が多いなか、数値は微増ながらもほぼ全ての産業で回復への期待感がみられる結果となった。

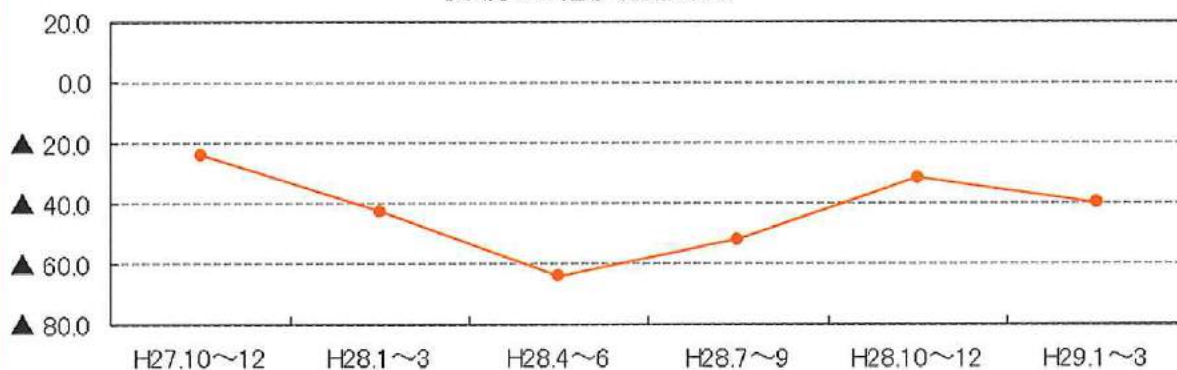
全体的な経営環境では、「価格改定を実施したか」の設問に対して、有効回答のうち20.1%の事業所で「実施した」との回答を得た。

#### （1）業況判断DI

前回比で見ると、全体では▲39.8と前回(▲31.6)より悪化した。産業別に見ると、「金融保険不動産業」「宿泊飲食業」「運輸交通業」「小売商業」で数値が改善となり、「総合建設業」「食品繊維工業」「機械工業」「専門建設業」「卸商業」「理美容サービス業」で悪化した。

向こう3ヶ月（4月～6月）については、全体で▲35.3と前回(▲57.7)より改善する見通しとなった。

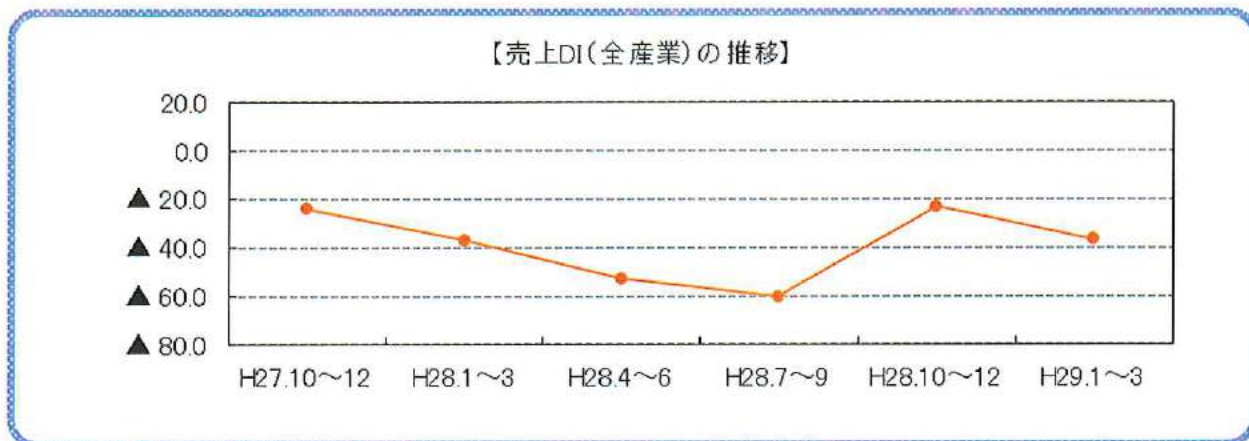
【業況DIの推移(全産業)】



## (2) 売上高DI

前回比で見ると、全体では▲36.8 と前回(▲23.4)より悪化した。産業別に見ると、「金融保険不動産業」「宿泊飲食業」「小売商業」で数値が改善、「運輸交通業」「卸商業」「機械工業」「食品繊維工業」「総合建設業」「専門建設業」で数値が悪化、「理美容サービス業」は前回と変わらなかった。

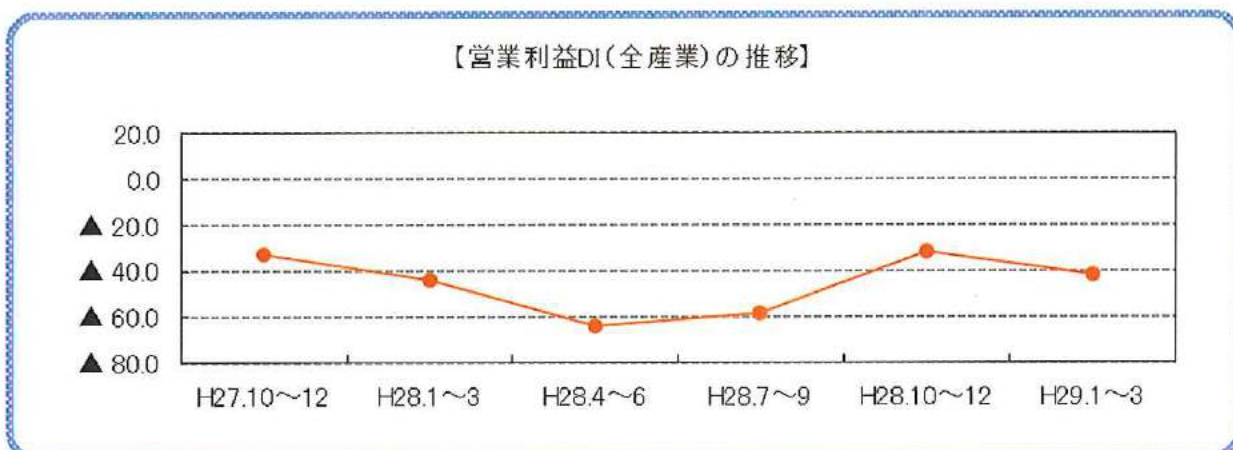
向こう3ヶ月(4月～6月)については、全体で▲44.4 と前回(▲56.3)より改善する見通しとなった。



## (3) 営業利益DI

前回比で見ると、全体では▲41.7 と前回(▲31.4)より悪化した。産業別に見ると、「金融保険不動産業」「宿泊飲食業」「運輸交通業」「小売商業」で改善し、「食品繊維工業」「卸商業」「機械工業」「理美容サービス業」「総合建設業」「専門建設業」で数値が悪化した。

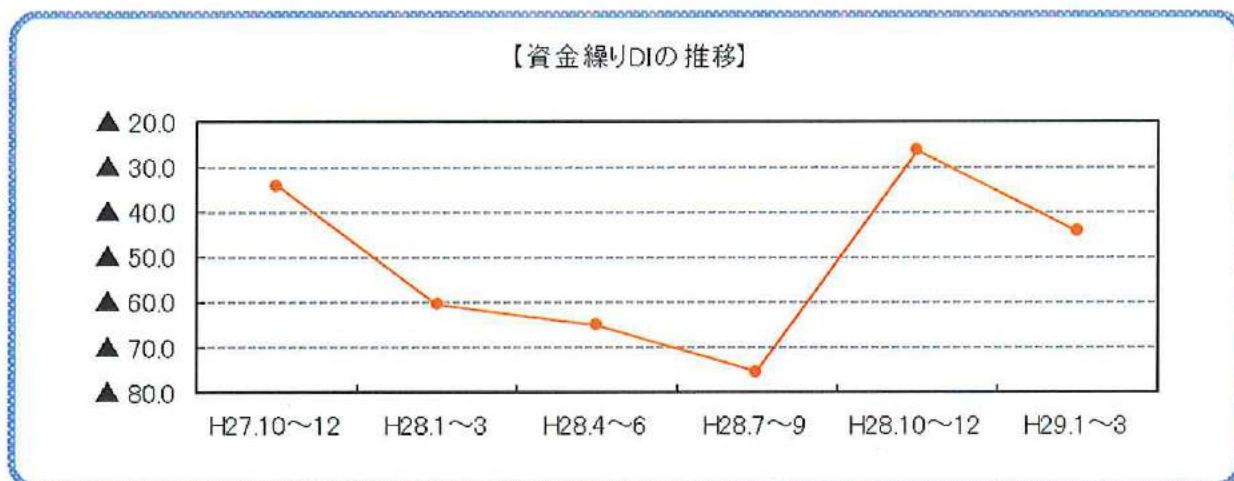
向こう3ヶ月(4月～6月)については、全体では▲51.2 と前回(▲57.1)より改善する見通しとなった。



#### (4) 資金繰りDI

前回比で見ると、全体では▲44.3 と前回(▲26.3)より悪化した。産業別に見ると、「金融保険不動産業」「宿泊飲食業」「機械工業」で数値が改善、「卸商業」「専門建設業」「小売商業」「総合建設業」「運輸交通業」「理美容サービス業」で数値が悪化、「食品繊維工業」は前回と変わらなかった。

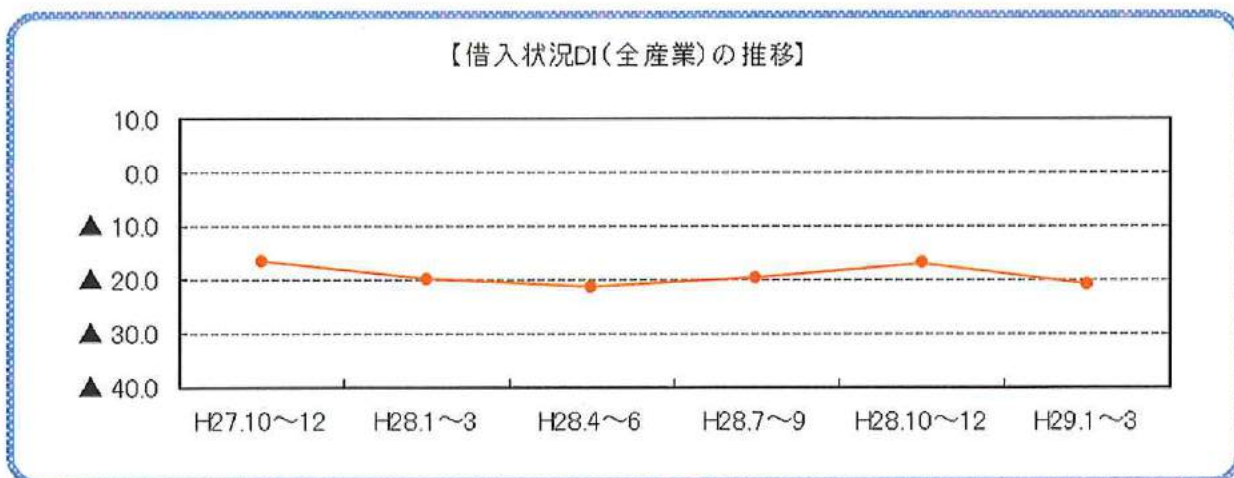
向こう3ヶ月(4月～6月)については、全体では▲46.9 と前回(▲56.9)より改善する見通しとなった。



#### (5) 借入状況DI

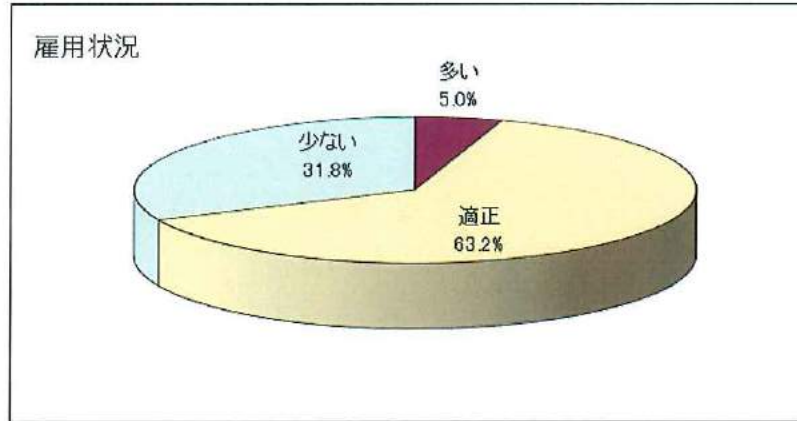
前回比で見ると、全体では▲20.8 と前回(▲16.9)より借入状況は改善した。産業別に見ると、「専門建設業」「運輸交通業」「小売商業」「卸商業」「理美容サービス業」「金融保険不動産業」で数値が改善、「総合建設業」「食品繊維工業」「機械工業」「宿泊飲食業」で数値が悪化した。

向こう3ヶ月(4月～6月)の借入環境については、全体では▲67.4 と前回(57.1)より悪化する見通しとなった。



## (6) 雇用状況

従業員数については、適正であると判断している企業が 63.2% (前回 64.3%)、多いと感じている企業が 5.0%(前回 4.1%)、少ないと感じている企業が 31.8%(前回 31.6%)となっている。採用計画については、「採用予定」が 40.5%(前回 39.2%)と前回より増加、「予定なし」が 41.5%(前回 42.2%)と前回より減少した。



## (7) 自由意見

### (小売商業)

- ① 人口減少（高齢化も）が今後の懸念材料。
- ② 価格競争が厳しい。
- ③ 特に時季取扱い商品は天候（暖冬）の影響か顧客の買い控えもあり取引の鈍化傾向。
- ④ 3月の実績がまだ確定しておりませんので、2月実績での回答です。
- ⑤ 29年2月13日付で奥州市消防団応援の店に登録した。地元に着し商売を続けていく為には、地元の人達との交流を図り強い絆で結ばれる地域でなければならないので、協力出来る事からやるように店内にお休み処を設け、誰でも気軽に腰をおろす事が出来る場所を提供している。幾分でも答えに増加とか好転に○をつける様に日々努力中。買い物客は少ない現況・・・努力あるのみ。
- ⑥ 昨日の強風、雪、桜の季節なのに・・・これが現実。今日は快晴。入学した子供たちが交通教室をするには最高の日。4月はアンパンマングッズを店に飾って（酒屋とは関係ないが）店の前を通る人に喜んでもらっている。

### (卸商業)

- ① これまで商売をしてきて、この2～3年景気の悪くなったことを感じている。この先、政治・経済がどう動くのか、無理な商いは避けてと考えている。
- ② 販売環境が年々変化している中で、内的要因（景気・人口減少等）、外的要因（気象状況・米国の政策・EUの政情不安定）が、日本経済を大きく揺さぶる可能性が有り。結果、消費マインドを冷やす結果にならなければと危惧している。
- ③ 求人募集をしても全く反応がなく困っている状況である

### (機械工業)

- ① 顧客業種間により好不調が激しく、総体的に伸び悩んでいる状況。
- ② 現状は横ばい。先の見通しの判断が難しい。

〈食品繊維工業〉

- ① 2016年10月31日をもって製材機械（丸太）のみ廃止。今後、木材業のみ
- ② 奥州市の地場量販店の乾麺売上は年々縮小傾向にあり、市場価格も下落傾向にある。更に美味しい麺の開発、発売に向け進めている。

〈総合建設業〉

- ① 従業員の高齢化で、労働力不足である。5年後は現人数の半分になる。事業継続が難しい。
- ② 高齢化増の為、若い人材が必要に考えている。

〈専門建設業〉

- ① 公共工事の予算減少に不安。
- ② 市内周辺は景気が悪い。建設業は仕事が無くて低入札競争が激しい。沿岸に出向いているのは相当数あるようだ。弊社も悪い下降気味で前年と同じ収支トントンである。前年対比受注が10%落ち、これから先何も考えなければ下がりっぱなしである。今年度は現在の仕事にプラスした付加価値の高い商品、工事を進めていく予定である。営業も増員した。
- ③ 社会保険加入の指導強化により、一人親方、下請会社を使いづらくなって人手不足が懸念される。
- ④ 被災地に仕事を求めているが（内陸無し）、諸手当、経費増が多少影響出ている。

〈運輸・交通業〉

- ① 3月は年度末で忙しかったが、今後はどうなるか不安です。高齢化で、あまりいい要素はないような気がする。
- ② 向こう3ヶ月の見通しは予想できない。売上が落ちても消費税の納付が大変だ。
- ③ 第一四半期は、前年より売上げも営業利益も良かった。何と無くではあるが、景気は良くなっている様に感じられる。
- ④ 人員不足が影響し、仕事はあってもこなせない状況。

〈金融・保険・不動産業〉

- ① トランプ政権のおかげでアメリカ株が上がっているが、いつ下がるか不安である。リーマンショックのようにならないければいいが…。

〈宿泊飲食業〉

- ① 奥州市の将来に非常に危機感を感じている。大変失礼だが、変化していけないものがあると思うが、抜本的に変えていけないことが多々あると思う。
- ② 冬期は例年売上が下がり、春からの回復も例年通りと思うが、一部イベントがなくなり売上げが下がる。

〈理美容サービス業〉

- ① ガソリンの値上り、少子化に問題あり。

## \* 産業別業況調査結果

### 【全 産 業】

当期（平成 29 年 1～3 月期：以下同）の奥州市全体の全産業の業況 D I は悪化となった。項目別にみると、在庫高 D I・借入状況 D I で数値が改善し、売上高 D I・営業利益 D I・資金繰り D I で数値が悪化した。

来期（平成 29 年 4～6 月期：以下同）の全産業を通じての業況 D I については改善の見通しである。項目別にみると、売上高 D I・営業利益 D I・資金繰り D I・借入環境 D I で数値が改善し、在庫高 D I で数値が悪化の見通しが示されている。

### 【1. 小売商業】

当期の業況 D I は▲38.5 と前回（▲66.7）より数値が改善した。項目別にみると、売上高 D I・営業利益 D I・在庫高 D I・借入状況 D I で数値が改善し、資金繰り D I で数値が悪化した。

来期については、業況 D I が▲45.5 と前回（▲100.0）より改善する見通しである。項目別にみると、売上高 D I・営業利益 D I・資金繰り D I・在庫高 D I・借入環境 D I で改善する見通しが示されている。

### 【2. 卸商業】

当期の業況 D I は▲73.3 と前回（▲28.6）より数値が悪化した。項目別にみると、借入状況 D I で数値が改善し、売上高 D I・営業利益 D I・資金繰り D I で数値が悪化、在庫高 D I は前回と変わらなかった。

来期についても、業況 D I が▲33.3 と前回（▲45.5）より改善する見通しである。項目別にみると、売上高 D I で数値が改善、営業利益 D I・資金繰り D I で数値が悪化、在庫高 D I・借入環境 D I は前回と変わらなかった。

### 【3. 機械工業】

当期の業況 D I は▲44.4 と前回（▲33.3）より数値が悪化した。項目別にみると、資金繰り D I で数値が改善、売上高 D I・営業利益 D I・在庫高 D I・借入状況 D I で数値が悪化した。

来期についても、業況 D I が▲55.6 と前回（▲41.2）より悪化する見通しである。項目別にみると、売上高 D I・営業利益 D I・資金繰り D I・在庫高 D I・借入環境 D I で数値が悪化する見通しが示されている。

### 【4. 食品繊維工業】

当期の業況 D I は▲33.3 と前回（11.1）より数値が悪化した。項目別にみると、在庫高 D I で数値が改善、売上高 D I・営業利益 D I・資金繰り D I・借入状況 D I で数値が悪化した。

来期については、業況 D I が 25.0 で前回（▲40.0）より改善の見通しである。項目別にみると、売上高 D I・営業利益 D I・資金繰り D I で数値が改善、在庫高 D I・借入環境 D I で数値が悪化する見通しが示されている。

### 【5. 総合建設業】

当期の業況 D I は▲25.0 と前回（0.0）より数値が悪化した。項目別にみると、在庫高 D I で数値が改善、売上高 D I・営業利益 D I・資金繰り D I・借入状況 D I で数値が悪化した。

来期については、業況 D I が▲42.9 と前回（▲42.9）と変わらない見通しである。項目別にみると、借入環境 D I で数値が改善、売上高 D I・営業利益 D I・資金繰り D I で数値が悪化、在庫高 D I で前回と変わらない見通しが示されている。



#### 【6. 専門建設業】

当期の業況D Iは▲57.1と前回(▲14.3)より数値が悪化した。項目別にみると、借入状況D Iで数値が改善、売上高D I・営業利益D I・資金繰りD I・在庫高D Iで数値が悪化した。

来期については、業況D Iが▲42.9と前回(▲60.0)より改善する見通しである。項目別にみると、売上高D I・営業利益D I・借入環境D Iで数値が改善、資金繰りD Iで数値が悪化、在庫高D Iは前回と変わらない見通しが示されている。

#### 【7. 運輸交通業】

当期の業況D Iは▲16.7と前回(▲33.3)より数値が改善した。項目別にみると、営業利益D I・在庫高D I・借入状況D Iで数値が改善、売上高D I・資金繰りD Iで数値が悪化した。

来期については、業況D Iが▲75.0と前回(▲100.0)より改善する見通しである。項目別にみると、売上高D I・営業利益D Iで数値が改善、資金繰りD I・在庫高D I・借入環境D Iで数値が悪化する見通しが示されている。

#### 【8. 金融保険不動産業】

当期の業況D Iは33.3と前回(▲33.3)より数値が大幅に改善した。項目別にみると、売上高D I・営業利益D I・資金繰りD I・借入状況D Iで数値が改善、在庫高D Iは前回と変わらなかった。

来期については、業況D Iは100.0と前回(0.0)と数値が大幅に改善する見通しである。項目別にみると、売上高D I・営業利益D I・資金繰りD I・在庫高D Iで数値が改善、借入環境D Iで数値が悪化する見通しが示されている。

#### 【9. 宿泊飲食業】

当期の業況D Iは▲11.1と前回(▲33.3)より数値が改善した。項目別にみると、売上高D I・営業利益D I・資金繰りD I・在庫高D Iで数値が改善、借入状況D Iで数値が悪化した。

来期についても、業況D Iが▲33.3と前回(▲83.3)より数値が改善する見通しである。項目別にみると、売上高D I・営業利益D I・資金繰りD I・在庫高D Iで数値が改善、借入環境D Iで数値が悪化する見通しが示されている。

#### 【10. 理美容サービス業】

当期の業況D Iは▲77.8と前回(▲63.6)より数値が悪化した。項目別にみると、在庫高D I・借入状況D Iで数値が改善、営業利益D I・資金繰りD Iで数値が悪化、売上高D Iは前回と変わらなかった。

来期についても、業況D Iが▲55.6と前回(▲55.6)より前回と変わらない見通しである。項目別にみると、売上高D Iで数値が改善、営業利益D I・資金繰りD Iで数値が悪化、在庫高D I・借入環境D Iは前回と変わらない見通しが示されている。

下段-前回DI値

青-改善 赤-悪化

【産業別業況実績DI】 【期間：平成29年1月～3月実績】

	全産業	小売商業	卸商業	機械工業	食品繊維	総合建設	専門建設	運輸交通	金融保険	宿泊飲食	理美容サ
業況	▲ 39.8	▲ 38.5	▲ 73.3	▲ 44.4	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 57.1	▲ 16.7	33.3	▲ 11.1	▲ 77.8
	▲ 31.6	▲ 66.7	▲ 28.6	▲ 33.3	11.1	0.0	▲ 14.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 63.6
売上高	▲ 36.8	▲ 61.9	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 42.9	▲ 62.5	▲ 15.8	42.9	▲ 9.1	▲ 80.0
	▲ 23.4	▲ 68.4	▲ 6.7	▲ 23.1	23.1	0.0	▲ 12.5	▲ 12.5	▲ 33.3	▲ 23.1	▲ 80.0
営業利益	▲ 41.7	▲ 56.5	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 45.5	▲ 57.1	▲ 69.2	▲ 29.4	33.3	0.0	▲ 50.0
	▲ 31.4	▲ 60.0	6.7	▲ 26.3	▲ 27.3	▲ 23.1	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 45.5	▲ 33.3	▲ 45.5
資金繰り	▲ 44.3	▲ 100.0	▲ 20.0	▲ 9.1	▲ 20.0	▲ 100.0	▲ 77.8	▲ 100.0	100.0	0.0	▲ 100.0
	▲ 26.3	▲ 50.0	0.0	▲ 25.0	20.0	33.3	▲ 42.9	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 42.9
在庫高	▲ 22.6	▲ 66.7	16.7	▲ 75.0	▲ 25.0	3.2	▲ 50.0	50.0	▲ 100.0	▲ 20.0	33.3
	▲ 30.6	▲ 100.0	16.7	▲ 33.3	27.3	▲ 9.4	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 100.0	▲ 42.9	0.0
借入状況	▲ 20.8	▲ 18.8	▲ 30.3	▲ 21.2	▲ 11.5	0.0	▲ 11.4	▲ 11.8	▲ 44.0	▲ 25.0	▲ 38.2
	▲ 16.9	▲ 16.1	▲ 3.6	▲ 35.3	▲ 25.0	▲ 9.4	8.3	▲ 9.4	▲ 36.0	▲ 31.8	▲ 21.2

※借入状況は、数値減少は借入金減少を示し「改善」、数値増加は借入金増加を示し「悪化」と判定。

【産業別業況予想DI】 【期間：平成29年4月～向こう3ヶ月予測】

	全産業	小売商業	卸商業	機械工業	食品繊維	総合建設	専門建設	運輸交通	金融保険	宿泊飲食	理美容サ
業況	▲ 35.3	▲ 45.5	▲ 33.3	▲ 55.6	25.0	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 75.0	100.0	▲ 33.3	▲ 55.6
	▲ 57.7	▲ 100.0	▲ 45.5	▲ 41.2	▲ 40.0	▲ 42.9	▲ 60.0	▲ 100.0	0.0	▲ 83.3	▲ 55.6
売上高	▲ 44.4	▲ 75.0	▲ 42.9	▲ 52.4	0.0	▲ 60.0	▲ 42.9	▲ 66.7	100.0	▲ 14.3	▲ 63.6
	▲ 56.3	▲ 100.0	▲ 52.9	▲ 47.4	▲ 50.0	▲ 28.6	▲ 52.9	▲ 80.0	14.3	▲ 81.8	▲ 77.8
営業利益	▲ 51.2	▲ 68.4	▲ 53.8	▲ 60.0	▲ 11.1	▲ 69.2	▲ 41.2	▲ 69.2	50.0	▲ 14.3	▲ 66.7
	▲ 57.1	▲ 100.0	▲ 29.4	▲ 37.5	▲ 85.7	▲ 37.5	▲ 76.5	▲ 80.0	0.0	▲ 80.0	▲ 50.0
資金繰り	▲ 46.9	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 45.5	0.0	▲ 33.3	▲ 100.0	▲ 100.0	100.0	20.0	▲ 66.7
	▲ 56.9	▲ 100.0	0.0	▲ 42.9	▲ 100.0	▲ 20.0	▲ 75.0	▲ 60.0	▲ 100.0	▲ 75.0	▲ 25.0
在庫高	▲ 45.1	▲ 80.0	▲ 9.1	▲ 50.0	▲ 100.0	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	33.3	▲ 20.0	▲ 100.0
	▲ 41.9	▲ 100.0	▲ 9.1	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 100.0	0.0	▲ 100.0	▲ 75.0	▲ 100.0
借入環境	67.4	▲ 66.7	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	▲ 60.0	▲ 33.3	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 33.3
	57.1	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 81.8	▲ 40.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 11.1	▲ 60.0	33.3	▲ 33.3

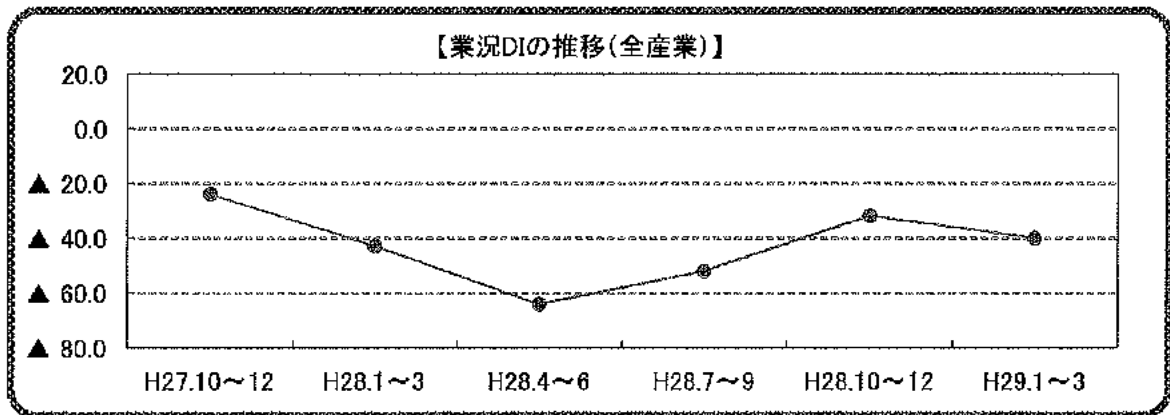
※借入環境は、数値増加は借入緩和を示し「改善」、数値減少は借入困難を示し「悪化」と判定。

■ 業況判断 ■

【業況DI (全産業) の推移】

	H27.10~12	H28.1~3	H28.4~6	H28.7~9	H28.10~12	H29.1~3	見通し
全産業	▲ 23.8	▲ 42.6	▲ 63.9	▲ 51.8	▲ 31.6	▲ 39.8	▲ 35.3
小売商業	▲ 16.7	▲ 60.0	▲ 86.7	▲ 86.7	▲ 66.7	▲ 38.5	▲ 45.5
卸商業	▲ 71.4	▲ 33.3	▲ 42.9	▲ 41.2	▲ 28.6	▲ 73.3	▲ 33.3
機械工業	▲ 37.5	▲ 61.9	▲ 84.6	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 44.4	▲ 55.6
食品繊維	▲ 50.0	▲ 42.9	▲ 55.6	▲ 100.0	11.1	▲ 33.3	25.0
総合建設	▲ 9.1	9.1	▲ 40.0	▲ 40.0	0.0	▲ 25.0	▲ 42.9
専門建設	▲ 6.7	▲ 14.3	▲ 60.0	16.7	▲ 14.3	▲ 57.1	▲ 42.9
運輸交通	▲ 60.0	▲ 66.7	▲ 60.0	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 75.0
金融保険	71.4	▲ 11.1	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	33.3	100.0
宿泊飲食	25.0	▲ 50.0	▲ 69.2	▲ 100.0	▲ 33.3	▲ 11.1	▲ 33.3
理美容サ	0.0	▲ 53.8	▲ 76.5	▲ 66.7	▲ 63.6	▲ 77.8	▲ 55.6

平成29年4月現在

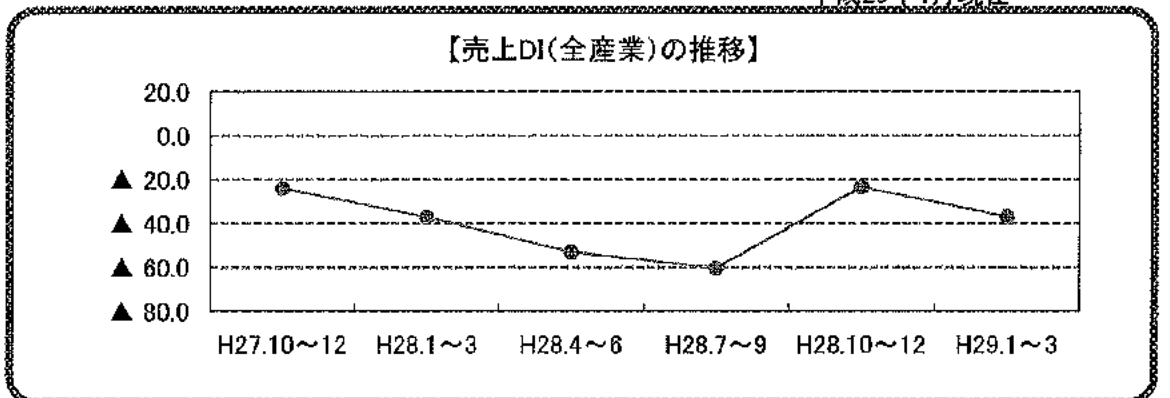


■ 売上 (受注・出荷) ■

【売上DI (全産業) の推移】

	H27.10~12	H28.1~3	H28.4~6	H28.7~9	H28.10~12	H29.1~3	見通し
全産業	▲ 24.0	▲ 37.0	▲ 53.0	▲ 60.3	▲ 23.4	▲ 36.8	▲ 44.4
小売商業	▲ 41.2	▲ 55.6	▲ 61.9	▲ 100.0	▲ 68.4	▲ 61.9	▲ 75.0
卸商業	▲ 60.0	▲ 28.6	▲ 22.2	▲ 44.4	▲ 6.7	▲ 33.3	▲ 42.9
機械工業	▲ 21.7	▲ 58.3	▲ 60.0	▲ 55.6	▲ 23.1	▲ 33.3	▲ 52.4
食品繊維	▲ 47.4	▲ 28.6	▲ 40.0	▲ 100.0	23.1	▲ 33.3	0.0
総合建設	▲ 14.3	0.0	▲ 37.5	▲ 53.8	0.0	▲ 42.9	▲ 60.0
専門建設	▲ 18.2	▲ 15.4	▲ 46.7	▲ 14.3	▲ 12.5	▲ 62.5	▲ 42.9
運輸交通	▲ 42.9	▲ 70.0	▲ 63.6	▲ 50.0	▲ 12.5	▲ 15.8	▲ 66.7
金融保険	60.0	▲ 23.1	▲ 27.3	▲ 75.0	▲ 33.3	42.9	100.0
宿泊飲食	33.3	▲ 50.0	▲ 73.3	▲ 100.0	▲ 23.1	▲ 9.1	▲ 14.3
理美容サ	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 77.8	▲ 33.3	▲ 80.0	▲ 80.0	▲ 63.6

平成29年4月現在



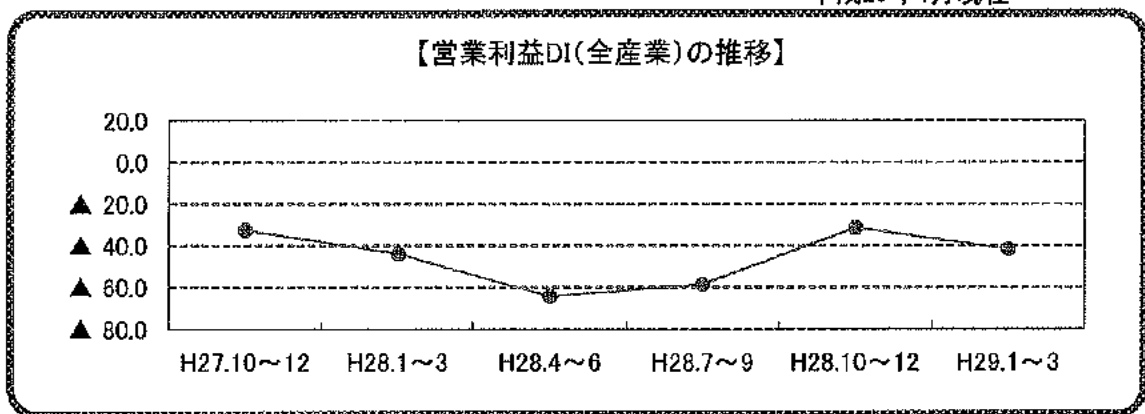
## ■ 営業利益 ■

【営業利益DI（全産業）の推移】

	H27.10~12	H28.1~3	H28.4~6	H28.7~9	H28.10~12	H29.1~3	見通し
全産業	▲ 32.5	▲ 43.8	▲ 64.2	▲ 58.6	▲ 31.4	▲ 41.7	▲ 51.2
小売商業	▲ 41.2	▲ 52.4	▲ 68.4	▲ 90.0	▲ 60.0	▲ 56.5	▲ 68.4
卸商業	▲ 87.5	▲ 38.5	▲ 46.7	▲ 41.2	6.7	▲ 50.0	▲ 53.8
機械工業	▲ 23.8	▲ 52.0	▲ 55.6	▲ 50.0	▲ 26.3	▲ 50.0	▲ 60.0
食品繊維	▲ 41.2	▲ 33.3	▲ 53.8	▲ 81.8	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 11.1
総合建設	12.5	0.0	▲ 52.9	▲ 84.6	▲ 23.1	▲ 57.1	▲ 69.2
専門建設	▲ 27.3	▲ 30.4	▲ 66.7	▲ 17.6	▲ 33.3	▲ 69.2	▲ 41.2
運輸交通	▲ 65.2	▲ 72.7	▲ 71.4	▲ 41.2	▲ 33.3	▲ 29.4	▲ 69.2
金融保険	63.6	▲ 28.6	▲ 45.5	▲ 75.0	▲ 45.5	33.3	50.0
宿泊飲食	▲ 14.3	▲ 66.7	▲ 77.8	▲ 80.0	▲ 33.3	0.0	▲ 14.3
理美容サ	▲ 50.0	▲ 46.7	▲ 82.6	▲ 50.0	▲ 45.5	▲ 50.0	▲ 66.7

平成29年4月現在

【営業利益DI（全産業）の推移】



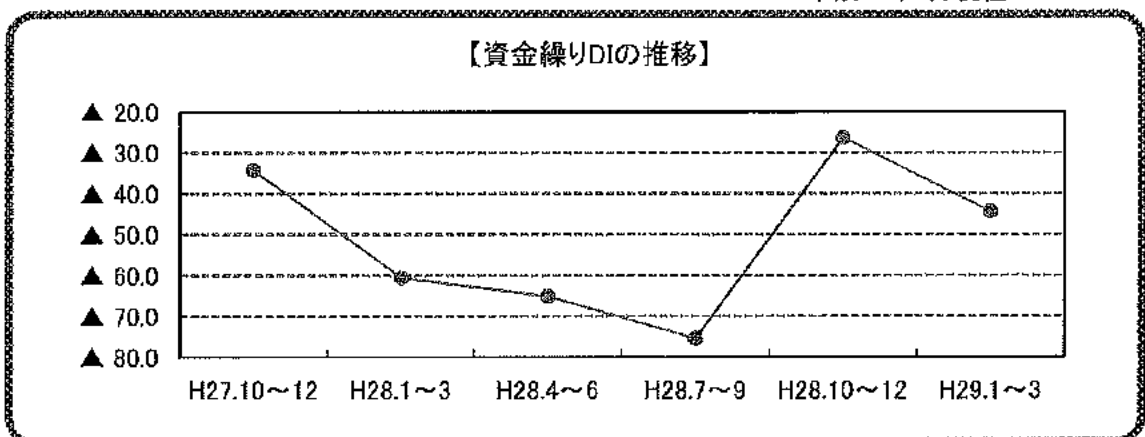
## ■ 資金繰り ■

【資金繰りDI（全産業）の推移】

	H27.10~12	H28.1~3	H28.4~6	H28.7~9	H28.10~12	H29.1~3	見通し
全産業	▲ 34.2	▲ 60.5	▲ 65.1	▲ 75.4	▲ 26.3	▲ 44.3	▲ 46.9
小売商業	▲ 25.0	▲ 45.5	▲ 83.3	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 40.0
卸商業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 20.0	▲ 100.0	0.0	▲ 20.0	▲ 50.0
機械工業	▲ 27.3	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 100.0	▲ 25.0	▲ 9.1	▲ 45.5
食品繊維	▲ 14.3	▲ 75.0	▲ 20.0	▲ 60.0	20.0	▲ 20.0	0.0
総合建設	0.0	0.0	▲ 33.3	▲ 66.7	33.3	▲ 100.0	▲ 33.3
専門建設	▲ 11.1	▲ 71.4	▲ 50.0	0.0	▲ 42.9	▲ 77.8	▲ 100.0
運輸交通	▲ 66.7	▲ 69.2	▲ 100.0	▲ 81.8	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0
金融保険	20.0	▲ 33.3	▲ 42.9	▲ 20.0	▲ 50.0	100.0	100.0
宿泊飲食	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	0.0	20.0
理美容サ	▲ 25.0	▲ 75.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 42.9	▲ 100.0	▲ 66.7

平成29年4月現在

【資金繰りDIの推移】



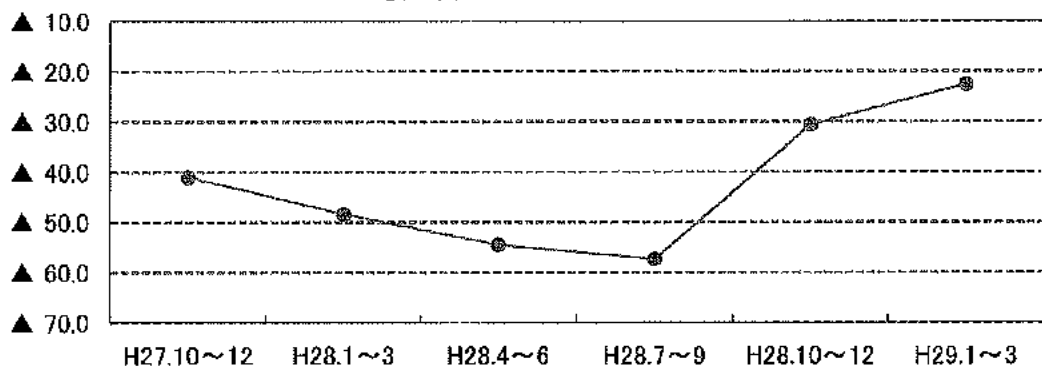
## ■在庫高■

【在庫高DI（全産業）の推移】

	H27.10~12	H28.1~3	H28.4~6	H28.7~9	H28.10~12	H29.1~3	見通し
全産業	▲ 41.0	▲ 48.4	▲ 54.5	▲ 57.4	▲ 30.6	▲ 22.6	▲ 45.1
小売商業	▲ 60.0	▲ 71.4	▲ 84.6	▲ 83.3	▲ 100.0	▲ 66.7	▲ 80.0
卸商業	▲ 38.5	▲ 45.5	0.0	▲ 33.3	16.7	16.7	▲ 9.1
機械工業	▲ 75.0	▲ 69.2	▲ 100.0	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 75.0	▲ 50.0
食品繊維	▲ 27.3	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 100.0	27.3	▲ 25.0	▲ 100.0
総合建設	0.0	6.7	▲ 3.2	▲ 10.0	▲ 9.4	3.2	0.0
専門建設	0.0	▲ 42.9	▲ 20.0	▲ 66.7	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 100.0
運輸交通	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	50.0	▲ 100.0
金融保険	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	33.3
宿泊飲食	100.0	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 75.0	▲ 42.9	▲ 20.0	▲ 20.0
理美容サ	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	0.0	33.3	▲ 100.0

平成29年4月現在

【在庫高DI(全産業)の推移】



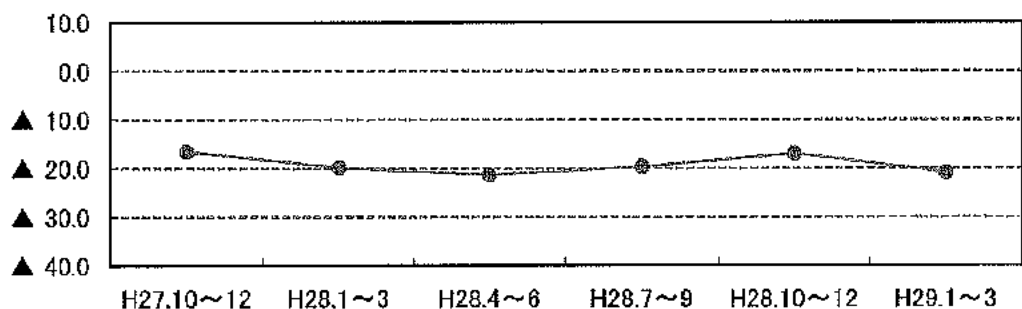
## ■借入状況■

【借入状況DI（全産業）の推移】

	H27.10~12	H28.1~3	H28.4~6	H28.7~9	H28.10~12	H29.1~3	見通し
全産業	▲ 16.5	▲ 19.8	▲ 21.3	▲ 19.6	▲ 16.9	▲ 20.8	67.4
小売商業	▲ 6.3	▲ 20.0	▲ 37.9	▲ 20.7	▲ 16.1	▲ 18.8	▲ 66.7
卸商業	▲ 13.3	▲ 4.0	▲ 22.2	▲ 24.1	▲ 3.6	▲ 30.3	▲ 100.0
機械工業	▲ 21.2	▲ 19.4	▲ 26.7	▲ 25.8	▲ 35.3	▲ 21.2	▲ 100.0
食品繊維	▲ 34.5	▲ 32.3	▲ 10.3	▲ 24.0	▲ 25.0	▲ 11.5	▲ 100.0
総合建設	▲ 6.7	▲ 13.3	▲ 16.1	▲ 13.3	▲ 9.4	0.0	0.0
専門建設	0.0	0.0	▲ 20.6	▲ 5.4	8.3	▲ 11.4	▲ 60.0
運輸交通	▲ 17.6	▲ 37.5	▲ 24.2	▲ 26.7	▲ 9.4	▲ 11.8	▲ 33.3
金融保険	▲ 41.7	▲ 33.3	▲ 36.0	▲ 37.5	▲ 36.0	▲ 44.0	▲ 100.0
宿泊飲食	▲ 5.6	▲ 23.1	0.0	▲ 27.3	▲ 31.8	▲ 25.0	▲ 100.0
理美容サ	▲ 23.3	▲ 18.2	▲ 18.2	0.0	▲ 21.2	▲ 38.2	▲ 33.3

平成29年4月現在

【借入状況DI(全産業)の推移】

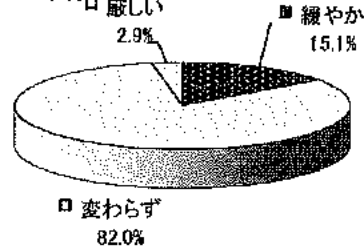


\* 参考調査（全産業）

1 借入環境

	緩やか	変化なし	厳しい	合計
回答	36	196	7	239
割合	15.1%	82.0%	2.9%	100.0%

1借入の環境について



2 設備投資

※設備投資をしたか

	した	しない	回答数
H27.10月～12月	60	229	289
H28.1月～3月	63	239	302
H28.4月～6月	56	237	293
H28.7月～9月	53	227	280
H28.10月～12月	71	222	293
H29.1月～3月	75	219	294
割合	25.5%	74.5%	

※向こう3ヶ月内に設備投資の予定があるか

	する	しない	回答数
H27.10月～12月	51	236	287
H28.1月～3月	61	235	296
H28.4月～6月	65	226	291
H28.7月～9月	52	224	276
H28.10月～12月	48	244	292
H29.1月～3月	68	227	295
割合	23.1%	76.9%	

3 雇用

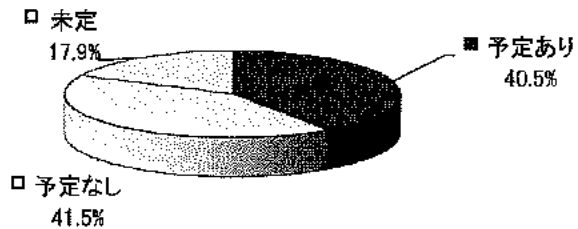
※現在の従業員数はどうか

	多い	適正	少ない
回答	15	189	95
割合	5.0%	63.2%	31.8%

4 採用計画について

	予定あり	予定なし	未定
回答	122	125	54
全体割合	40.5%	41.5%	17.9%

4 採用計画について



5 全体的な経営環境はどうなっているか（自由回答）

	+	割合	変化なし	割合	-	割合
①天候の影響	好影響 14	6.0%	変化なし 159	67.9%	悪影響 61	26.1%
②販売価格	上昇 27	10.3%	変化なし 191	73.2%	低下 43	16.5%
③価格改定	した 27	20.1%		0.0%	しない 107	79.9%
④時間外労働	増加 40	14.9%	変化なし 174	64.9%	減少 54	20.1%
⑤人件費比率	増加 83	30.7%	変化なし 156	57.8%	減少 31	11.5%
⑥競争	緩和 3	1.2%	変化なし 140	54.5%	激化 114	44.4%
⑦現金売上	上昇 15	6.0%	変化なし 176	70.7%	低下 58	23.3%
⑧代金回収期間	短縮 9	3.7%	変化なし 212	86.9%	延長 23	9.4%
⑨仕入値	上昇 97	38.5%	変化なし 152	60.3%	低下 3	1.2%
⑩当期利益	好転 25	9.5%	変化なし 146	55.3%	悪化 93	35.2%

5 経営環境

